

岡山大学 経済学会雑誌

第51巻 第2・3号

長畑秀和 教授
退職記念号

目 次

論 説

因子分析による財務比率の分類に関する予備的研究

.....中 川 豊 隆・長 畑 秀 和
山 西 佑 季 (1)

現代ポーランドの国家発展戦略と経済成長の原動力

.....田 口 雅 弘・岡 崎 拓 (15)

クラスターと階層組織

.....戸 前 壽 夫 (39)

研究ノート

高成果チーム医療の活用マネジメントに関するインタビュー調査報告

.....松 田 陽 一 (53)

ザクセン農村人口史覚書

.....松 尾 展 成 (85)

平等と分配的正義の基礎概念再考

——賃金・保険・税・社会保障の制度との関連で——

.....新 村 聡 (107)

Silver Democracy and Electoral System:

Political Feasibility of Policy Reform Plans in an Aging Japan

.....岡 本 章 (123)

翻 訳

エドゥアルト・ベルンシュタイン「オスカール・ヤーシ著『マジヤルの罪、ハンガリーの償い：
ハンガリーにおける革命と反革命』への序文」

.....太 田 仁 樹 (131)

長畑秀和 教授 略歴・研究業績 (139)

長畑秀和教授のご退職に寄せて

長畑秀和先生は、1980年（昭和55年）に九州大学大学院理学研究科後期博士課程を中途退学された後、同年5月に大阪大学基礎工学部教務職員に採用され、1985年（昭和60年）4月に同大学にて助手になりました。1991年（平成3年）4月に岡山大学教育学部助教授として採用された後、1999年（平成11年）4月に経済学部教授として着任され、2006年（平成18年）4月からは大学院社会文化科学研究科教授に配置換となるなど、2020年（令和2年）3月までの29年間にわたって岡山大学、とりわけ岡山大学経済学部ならびに大学院社会文化科学研究科の発展に大きく貢献されてきました。

長畑先生は統計データ分析担当教員として長く教育研究に努めてこられました。教育面においては、昼間及び夜間主コースの応用データ分析、多変量解析法、オペレーションズ・リサーチなどの講義を担当され、博士前期・後期課程においてはビジネスデータ解析の授業を担当されました。また、経済理論・統計講座の担当教授として学部学生・大学院生の指導に情熱をもって取り組まれ、数多くの卒業生を送り出してこられました。長畑先生の指導を受けた学生・院生は、日本及び海外の各種企業や公務員において活躍しています。

長畑先生は研究面においても、統計学の分野で多くの著書、論文を公表されています。特に近年ではプログラミング言語Rを用いた著書を数多く執筆され、データサイエンス教育や研究の発展に大きく寄与・貢献されました。

管理運営面においては、長畑先生は岡山大学大学院文化科学研究科（2005年4月～2007年3月）副研究科長を担当されました。また経済学部副学部長（2008年4月～2010年3月、2010年4月～2012年3月、2016年4月～2018年3月）を3期も務められ、岡山大学経済学部や社会文化科学研究科の発展にご尽力されてきました。

岡山大学経済学部は長畑先生のような貢献に対する感謝と尊敬の意をこめて、本号を長畑先生の退職記念号として発行させていただきました。末筆ではございますが、長畑先生のこれからのご健康とご活躍を祈念し、ご紹介の辞とさせていただきます。

2020年3月1日

経済学部長 張 星 源